

【説明資料】 発明・工夫作品コンテスト 製作の動機または目的, 利用方法, 作品自体やその製作過程で工夫したことを, 文章, 写真, 図などで説明。この用紙1枚に記入し, PDFファイルに変換した後, ホームページに貼り付けてください。

| | | | | | |
|-----|------|----------|-------|-----|------------|
| 学校名 | 熊本大学 | 個人・グループ名 | 岡田 拓也 | 作品名 | 焼き杉 多機能BOX |
|-----|------|----------|-------|-----|------------|

【製作の動機】

- ◆ 花粉症である製作者はティッシュを多用するため、容易にティッシュが取り出せるものが欲しかったから。
- ◆ 引き出しの付いている棚を製作し、木材加工のスキルを向上させたかったから。
- ◆ 卓上の細々したものを整理したかったから。

【材料】 スギ

目的に応じてふた
をすることも可能



【使用した工具類】

のこぎり、のみ、スコヤ、さしがね、はたがね、クランプ、木工用ボンド、サンドペーパー、ガスバーナ、たわし、雑巾など

【作品の特徴】

- ◆ ただのティッシュ箱であると使わないときは邪魔になってしまうので、小物の収納もできるように引き出しや便利スペース(小物や本を収納可)を設計した。予備の箱ティッシュも収納できる。(図1, 2)
- ◆ 部材の接合は、ほぞ接ぎ、おおいれ接ぎ等で接合しており、釘・ネジ等は一切使用していない。
- ◆ 材料はスギ材(15×180×100を2枚)のみ使用したことで、コストを500円程度に抑えられた。
- ◆ 焼きスギにし、おしゃれな雰囲気仕上げた。
- ◆ 引き出しの取っ手部分も端材を利用して製作した。下部にはくぼみを付け掴みやすくした。(図3)
- ◆ 前面の引き出し、ティッシュ入れの部分は、木目が一致するように、それぞれ一枚の板から切り出した。
- ◆ ティッシュの取り出し口に隙間を空け、無理なくティッシュを取ることができるようにした。(図4)
- ◆ 引き出しと本体の隙間を埋める為に、補助材を取り付け、スムーズに開け閉め出来るようにした。
- ◆ 仕上げのオイルは天然のものを使用し、子どもが舐めたりしても安全なものとした。
- ◆ 図5は正面図、図6は使用例である。



図1



図2



図3

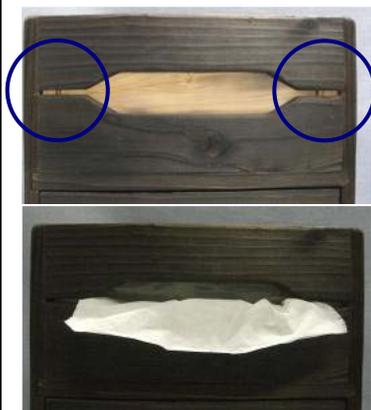


図4



図5



図6